

京都 CSR 推進協議会 2014 年度事業計画

(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)

基本方針

当協議会は「中小企業の CSR 支援」「市民力の向上」「地域力の向上」をミッションとし、京都府域の中小企業及び小規模事業者を主とした企業等の CSR の取り組みを促進及び支援すること、並びに地域力の向上と地域の社会的課題の解決に資することを目的として、2011 年 4 月 22 日に設立した。

協議会の「基本的な考え方と特徴」として、①パートナーシップ性、②マルチセクター性、③シンボル性、が合意されているが、発足後 3 年が経過し、協議会の組織運営のあり方を改めて総括し見直す必要が生じている中、パートナーシップ性としての「各構成組織は協議会の事業を自組織のミッションの実現のために活用し、協議会は各構成組織の資源を有機的に結びつけて事業展開に生かす。」の考え方がとりわけ重要となっている。

また、世界的にみれば CSR の重要性がますます高まっている中で、「地域社会全体の取り組みとすることで、京都の CSR のシンボルとなり、市民の目からも分かりやすいものとなる。」というシンボル性も、協議会の目的の一つである「CSR の取り組みの促進」を具体化するものとして重要である。協議会は、目に見えるニーズの如何にかかわらず、企業にとって、また地域社会にとっての CSR の重要性を発信して啓発し、その考え方と取り組みを普及・促進していく役割を担っている。

2014 年度は、こうした協議会設立の原点に立ち返り、諸事業を精査しながら協議会の存続を模索する。なお、財務面では会費収入を基本的な財源とし、その範囲内で継続可能な事業を行うことを目指す。

1 支援事業

(1) CSR 取り組みレポートの作成・公開支援、ウェブサイトの運用

CSR 取り組みレポートの作成からウェブサイトアップに至るメンバー会員への支援を、協議会事業の軸として継続して実施する。

(2) 取り組みセミナーの開催

CSR 創発塾を継続して開催する。

(3) 支援の拡大

理事会員の中核団体である経済団体の役割としての各傘下企業に対する取り組みに協力し、メンバー会員の拡大につなげる。また、会員募集期間に照準をあてた CSR に関するセミナーなどイベントを企画する。

2 普及・促進事業

(1) オープンセミナーの開催

外部の団体等と連携する機会を活用して、オープンセミナーを開催する。

(2) 取り組みセミナーのオープン化

メンバー会員対象の CSR 創発塾の対象を拡大し、オープン化して広く参加企業を募る。その際、参加費を徴収する。

(3) ウェブサイト等の充実

CSR を普及・促進する観点から、ウェブサイトやメール等での情報発信の充実を図る。

(4) リーフレット・パンフレットの作成と活用

リーフレット・パンフレットを、必要に応じて活用する。また、必要に応じて改訂する。

3 組織の運営

(1) 会員募集集中期間の設定と会員システムの改変

① 10 月～11 月をメンバー会員募集集中期間とし、12 月～3 月に CSR 取り組みレポートの作成・公開支援や諸手続き等の会員サービスを集中させる。

② 会員サービス期間の集中化に伴い、取り組みレポートの更新時期を統一する、など会員システムの改変を行う。

(2) 協議会の運営

① 総会の開催

1 回開催する。

② 理事会の開催

1 回程度開催する。

③ 企画運営委員会の開催

5 回程度開催する。

以上